

「ゆっくり＝安定」ではない。

「スピード＝安定」である。

世間では「ゆっくり＝安定」というイメージがあります。
丁寧さがあり、力強く、安定を連想させます。

しかし、頭で考えるだけの世界です。

現実では、ゆっくりであるほど、不安定になります。

ゆっくりすれば安定するのは、妄想です。

あなたが自転車に乗っているときを思い出しましょう。

時速1キロというゆっくりしたスピードで進むとどうなる
でしょうか。

ぐらぐら不安定になり、今にも横に倒れそうになりますね。

自転車をこぐために、ゆっくりであるほど、力と注意と集中が必要です。

大して前へも進んでいないうちから、疲れます。

遅ければ遅いほど、不安定になります。

ある程度のスピードがなければ、安定しないのです。

安定をさせるためには、スピードを作ることです。

スピードこそ、安定です。

自転車がそうであるように、ある程度のスピードがあつて初めて安定します。

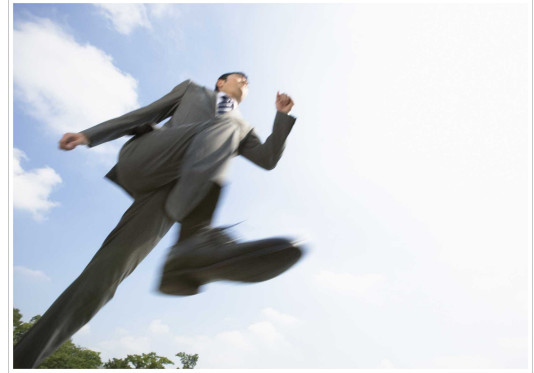
安定した企業には、必ずスピードがあります。

学校の成績が優秀な人も、必ずスピードを持って勉強しています。

自動車もスピードのある車ほど、高価です。

スピードがあれば、雑になるというイメージがありますが、実際は逆なのです。

速ければ速いほど、安定して立つことができるようになります。



「スピード=安定」が、本当の現実なのです。

スピードのある人になる方法 その5

安定させるために、スピードを出す。